

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

April / 12 / 2013 # 1

みなさん、はじめまして。

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『インターネットを使う』

[2] Pepeのひとりごと

『非日常を作る』

[3] おすすめ動画

『Night of Brass 2011 - No. 05 Hungarian Schnapsody』

『Flight of the Bumble Bee : Tuba and Windband』

[4] 演奏のヒント！

『大切なことをしっかり、でも楽しく効率的に』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『インターネットを使う』

ここ数年でインターネットの普及は急速に進んできましたね。
もちろん、それによって音楽の世界もずいぶんと変わってきました。

オンライン販売やネット配信、また著作権を無視したネット上への公開などについてはよくメディアでも取り上げられて目にすることがあると思います。

ここではそれではなく、オンラインでのライブ配信について少し書こうと思います。

オンラインでのライブ配信とは、コンサート会場で行われているコンサートを、ネット上で生中継するということです。

え、そんなことができるの？と初めて聞く人は驚くかもしれませんが、今は世界各地でそのようなシステムを使ってコンサートの無料生中継が行われたりしているんですよ。

やり方は簡単。

パソコンとネット回線、あとカメラとマイクがあれば（マイクはカメラについていけばそれでOK）それで誰でも無料で配信することができます。

いくつかサービスがあるのですが、僕が視聴、配信共にメインで使っているのはUSTREAM（ユーストリーム、通称UST=ユースト）というサービスです。

<http://www.ustream.tv/>

登録（無料）をすれば、誰でも配信ができるようになります（スマートフォンを使って、アプリからのお手軽な配信もできます）。

視聴だけなら、たしか登録しなくても見れたと思います。

ここで考えるべきことは、これらを使うか使わないかということではなく、どのように使っていくか、だと思います。

（あ、視聴ではなく配信のことで考えてます）

（僕の認識では）坂本龍一さんをはじめ、一流の方たちがこのサービスを音楽活動に使い始めたのが最初だと思うのですが、これをどうミュージシャンの仕事に活かしていくか、が重要なのだと考えています。

簡単に配信できるからといってなにもかも無料で配信しちゃうと、誰もコンサート会場に行かないで、家で楽な格好でコンサートを聴く、という選択をとってしまいますよね。

そうなると、僕たち音楽家はやっていけません（涙）。

ここで僕たちミュージシャンが考えないといけないのは、会場に来たいと思わせる価値をどのように作っていくか、だと思います。

僕自身、去年（2012年）の夏に地元・松山でソロリサイトを

開き、その様子をネットで生配信しました。

有料配信もできるのですが、ネット配信は無料にし、そのかわり音質、画質はあまりいい状態を作らないようにしてみました。

あまりにいい音で配信しちゃうと「生の音で聴く」という良さがなくなってしまいますし、画質も、よく見たいのなら会場へ！という形にしたかったからです。

そうすることで生での良さをより出せるようにしてみました。

では、無料だし生で聴いたほうが断然いいのにどうして準備なども面倒なネット配信をしたのか？

それは、当日会場に来れない人にもぜひ聴いてもらいたかったからです。

僕くらいの年齢になると、妊婦さんや小さい子供を持つお母さんも増えています。

そのような、なかなか思うように外に出られない環境の人にもコンサートを楽しんでもらう方法として、僕はこのツールは役に立つと思いました。

あと、僕のように地方に拠点を置いて活動しているものとしては、一人でもたくさんの人に自分の演奏を聴いてもらいたいと思うんです。

もちろんネットの世界は国境がありませんので、時間さえ合わせられれば世界中の人に自分の演奏を生で聴いてもらうことができます。

このように、今の時代、それなりの知識を持っていれば自分のことを（お金をほとんどかけないで）世界中にアピールしていけます。

便利なものは上手に使っていくべきでしょう。

上手に使うためには多少の勉強が必要ですが、勉強が必要なのはどの仕事でも同じことです。

現代の音楽家はインターネットを（上手に）利用して音楽活動をやっていくべきだと考えていますし、僕自身も、これからまた機会があればコンサートやレッスンなどの様子をネットで配信していければ、と考えています。

これからも、演奏者側と視聴者側が共により音楽を楽しんでいけるよう、またお互いにとって便利になるように工夫と勉強を続けていこうと思っています。

[2] Pepeのひとりごと

『非日常を作る』

僕は相手が社会人でも学生でも、自分がレッスンをさせてもらう時には、いい意味での「非日常」を作ろうとしています。

この場合の非日常とは、
「音楽と接していて、それを楽しんでいる」
状態のことです。

僕のような音楽家にとっては、音楽（楽器演奏）と密接している生活は日常なのですが、レッスンを受けてくれる側からすると、僕のレッスンを受けているときというのは、きっと非日常なんだと思います（そうであると信じています。笑）。
いつも練習しているのとは少し違う、ちょっと特別な時間。

これを「先生が来ている特別なレッスン時間」という、ただ普通にレッスンをするだけのありふれた状態にするのではなく、僕は意識して「本当に特別な時間」にしようとしています。

何がどう違うのかというと、僕にしかできないこと、僕にしか作れない雰囲気を作ろうとしているということです。

多くの現場では、レッスンのやり方や内容によってその場の雰囲気が作られていく、いわば雰囲気は2次的に作られたものになります。
でも僕は、レッスンの進め方や内容と同時にどのような雰囲気を作っていくのかも1次的に考えながらレッスンを進めていきます。

どうしてそんなことを考えているのか？

それは、そのほうが上達するのが早くなると考えているからです。
もう1つの理由は、音楽を楽しめる！！（笑）

僕は音楽を楽しむことと苦しい練習をして上達することは、両立できると信じています。
できないと感じたりするのは、工夫が足りなかったり、まだまだ発想する力が足りないんだと考えています。

なので、はじめてレッスンでオジャマするバンドやはじめての個人レッスンなどでは、他愛もない会話からやレッスンを進めていながら、ものすごく情報収集をします。

もちろん、楽器の演奏技術に関する情報だけでなく、その人、グループの性格などの情報も含めてです。

それらの情報を何に使っているか？

いろいろなことにです（笑）。

例えば、情報収集をしてその人やグループがシャイだったり、自分の演奏技術の割に自信が持てていないと感じた場合。

何かをまず吹いてもらいたいという時に、個人レッスンだと、まずは無理のない吹きやすい音域の大きめの音量のところから吹いてもらったり、それがもしバンドや金管全体などの大人数だったら、全員で音を出すところから吹いてもらったりするわけです。

そうやって、僕の前で音を出すことになるべく早く慣れてもらい、いつも出している音が聴けるような状態を作っていきます。

この「いつも出している音」を聴かせてもらうまでに時間がかかると、レッスン内容も自分のやりたいところまで深く入り込むことができないので、僕はとても大切なこと（レッスンのテクニック）の一つだと思ってやっています。

で、「いつもの音」を聴くことができれば、あとはもうこちらのもの（笑）。

その後は、その音からの情報でさらにいろいろなこと（いいところや今後の課題、またその課題にむかってやっていく最適な練習方法など）が見えてきます。

ここまで来れば、あとはその人やメンバーが気分よく進めていけるような段取りを組んで、少しずつそれに沿ってレッスンを進めていけます。

いつもの音が出せるような状態になると、個人でもバンドでも、雰囲気は心地よいものになっていると思います。

そして、自分自身では気づいていない問題点だけではなく、同じく気づけていない「いいところ」も的確に指摘をしていくと、きっとその人の「音楽のある幸せな非日常」を作ることができると僕は信じています。

日頃厳しい練習をしている人の中には、音楽をする喜びを感じるチャンスを見逃している人もたくさんいるように感じます。そういう人たちに「ここでこの響きの心地よさを楽しもう！」と伝えることも僕のレッスンの大切な役割の一つだと考えています。

僕は、こういう仕事に本当にやりがいと生きがいを感じています。そしてそのやり方には、人やバンドそれぞれで同じやり方が一つもないくらいの種類があると思っています。同じ人やバンドでも、毎回同じわけではないですしね。

レッスンを受ける人は、変に気負って「いつもよりもさらにうまく演奏しよう」とか「いい格好しよう」とか考えないで、いつもどおり、自分の背丈のままで全力を出そうとしてくださいね。あとはこちら、レッスンをやる側の仕事です。

レッスン中、わからないことがあればすぐに質問をして、時間がかかってもいので自分でちゃんと納得するまでやってください。納得、理解できるようにするのはこちらの仕事です。わからない自分が悪い、なんて考える必要ないんですよ！

教える側もそうなのですが、音楽のこと、楽器演奏のことを質問する場合、言葉ではなかなか伝えにくいことが多くあると思います。その難しさは僕もよ～～くわかっているので、擬音を使ったり抽象的な言い方でもいいので、積極的にこちらに伝えようとしてください。

こういう文章でやり取りすることは特に難しいし、正直限界を感じていますが、実際のレッスンでは必ず何とかできると思っています。

今までいろいろな国でいろいろな言語を使ってレッスンなどをやらせてもらってきましたが、まだまだ新しい人、仲間たちとの出会いを求め続けています。

興味のある人は、ぜひ気軽にレッスンも問い合わせてくださいね。全国各地、海外も含めいろいろなところへオジャマしますよ！

質問も問い合わせも、こちらへのe-mailをお願いします！！
info@pepeabe.com

[3] おすすめ動画

『Night of Brass 2011 - No. 05 Hungarian Schnapsody』

<http://www.youtube.com/watch?v=fEDINm1dCYg>

今回、1つ目の動画はこれです（毎回複数の動画を載せるかはまだ決めてません。今のところ2つずつのつもりでいます。笑）。

僕の一つの目標でもあり、勝手にライヴァルだと思って刺激を受けているハンガリーのトロンボーンの名手、Zoltan Kiss氏です。今は、オーストリアの「Mnozil Brass」のメンバーとして大活躍していますね。

彼に限らず、ハンガリーにはいたるところにこのような金管楽器のスーパープレイヤーがゴロゴロいます。

僕自身、ハンガリーで少し活動をしていた時に受けた刺激は本当に僕を成長させてくれましたし、今もずっと目標を持って上を目指してやっていけるのは、あの時に受けた悔しさを今も忘れずに持ち続けているからだと思っています。

『Flight of the Bumble Bee : Tuba and Windband』

<http://www.youtube.com/watch?v=J9sHNuhUj3Q>

2つ目の動画は、Tuba！

僕の親友の一人で、兄弟のような存在のRoland Szentpali氏の演奏です（僕が2週間ほど誕生日が早いのでお兄さんです。笑）。

彼とは家族ぐるみでの付き合いがあって、頻繁に連絡を取っているわけではないけど、お互い必要なときには気兼ねなく連絡を取り合っています。

彼もまたハンガリー人で、みんなの常識を吹き飛ばす演奏をしてくれますよ。

循環呼吸も使って演奏しているので、興味のある人はその辺りにも注目！

ハンガリーに住んでいたときは毎日のように彼と演奏活動をしたり練習をしていました。おかげで、音域（特に高音域）に関しての壁は彼の存在によってぶっ壊されました（笑）。

彼にはとても感謝しています！（笑）

[4] 演奏のヒント！

『大切なことをしっかり、でも楽しく効率的に』

楽器の練習は、金管楽器にかぎらずすべての楽器において孤独なものが多くを占めていると思います。

「吹けるようになりたい曲」や「吹きこなせるようになりたいフレーズ」などがあれば、その孤独もむしろ「集中しやすい好ましい環境」となって毎回意欲の湧くいい練習ができます。でも、常にそのようなものがある人ばかりではありません。

むしろ、「毎日練習していないと、あっという間に吹けなくなってしまう」「基礎は大切だから毎日少しずつでも吹かないといけない」と心配しながら練習している人が多いのではないのでしょうか。

・・・要するに、こう感じながら練習している人は真面目な人ということですね（笑）。

真面目で熱心に練習をしている人がいることはとてもいいことですし嬉しいことなのですが、僕は、そういう真面目な人にこそ早く上達してもらいたい！と強く思っています。

どうしてこのようなことを書いているかというと、必ずしもまじめにコツコツ練習している人が早く上達するわけではない、という現実があるからなんです・・・。

もちろん、定期的にコツコツと間違っていない練習をしていけば楽器演奏の技術は上達していくでしょう。

でも、みんな一日でも早く上達したいと願っているはずです。

そのためのヒントとして、「工夫をして毎回の練習をやっていく」ことを提案したいと思います。

大きく分けて伝えたいことは2つ。

1つは、「やらなければいけない」という認識を減らしていくこと。

もう1つは、小さなやりがいや目標を作り、それにむかって楽しく練習をすすめていくことです。

この文章でもそうですが、僕は「毎日の練習」という書き方は基本的にしません。

「毎日」の代わりに「毎回」という言葉を使います。

毎日練習できる人は気にならないけど、毎日練習したくてもできない人にとっては、この言葉が気になる人が少なからずいると思うからです。

この意識が、「やらなければいけない」と思ってしまう状況を作り、練習ができなかった日があると自分に対して罪悪感を持ってしまったりするのだと思います。

あまりに適当にするのもよくありませんが（笑）、毎日練習できないことに対してあまりにも罪悪感を持ってしまうと、楽器を練習している時に「喜び」を感じる余裕がなく、たまにできる練習が罪悪感へ対する謝罪のような感じになってしまうんですよね（何回も書きますが、そういう人も中には少なからずいるということです。そうじゃない人は読み流してくださいね。笑）。

これは残念な状況だと思います。

学校で楽器を吹いている人にはよくわからないかもしれませんが、社会人になってから毎日ある程度の練習時間を確保するという事は本当に難しいことです。

なかなか練習時間が取れない人は、練習する時間が確保できたことに対して自分を褒めてあげてくださいね。そして、気持ちよく楽器演奏、音楽と接している時間を楽しんでください。

これ、練習内容の深さが変わってくる重要な要素だと僕は思っています。

毎日練習することができなくても、工夫をしていけば何も考えずに毎日練習してる人よりも上手になることはありえます！！
・・・あ、スタミナに関してはこれに含まれませんが（涙）。

自分の生活のペースに合わせ、週に1回や週に2回というように、サボらなければ達成できる程度の目標を立てて、それができればふっと安心できるような感覚を持ってみましょう。

学生の頃熱心にやっていた人ほど毎日練習できないことに対する罪悪感のようなものを持ってしまいがちですよね。
その頃とは「環境や状況が違う」とはっきりと認識してしまって、今の状況での音楽の楽しみ方を新たに作ってみてくださいね！

もう1つの練習の進め方のコツですが、これはある種、単純な

ゲームをするような感覚を持ってみる事なんです。
もちろん内容ははっきりと、真面目でないといけませんよ（笑）。

例えば、時間つぶしでじゃんけんをすることを想像してみてください（そんな人あまりいないでしょうが。笑）。

ただじゃんけんをしても「はい勝った。はい負けた」で面白くもなんともないですよ（笑）

でも、これを「3回どちらかが勝ち続けるまでやろう！」というルールを作ってみると、盛り上がると思いませんか？
（やってみてすぐに3回連勝しちゃったら、連勝回数を5回とか10回とかに増やしていけばいいと思います）

あのリーチが掛かってからの緊張感！！そしてそれを達成した時のあの何とも言えない達成感やダメだった時の残念な感じ。それをやる立派な理由や根拠はないけど、盛り上がると思います。

こういった感覚を楽器の練習にも取り入れてみましょう！

楽器練習での例を出してみましようか。
例えばロングトーンするとき。

ただ真面目に気をつけるポイントをよく考えて、自分の音をよく聴きながらするだけでなく、そこに1つ

「半音階で1オクターヴ、ミスをしないうでやる！」

という目標を立ててみるんです。
もちろん、失敗するとはじめからやり直し！！

「ロングトーンでミスをする??
そんなことめったにないでしょ！」

と思ったそのアナタ！
チッチッチッ、甘いですよ（笑）。

ロングトーンはただ「まっすぐな音を○拍伸ばす」という練習ではありません。
音（運指）によってはアタック（発音）が曖昧になったりはっきりと音が立ち過ぎたり、音量が大きくなったり小さくなったりしてしまいます。
また、タイミングも少しでも気を抜くとメトロノームと同時に

音が出ません。

そういうことにまで気をつけてやらないと、あまり意味のない「自己満足のロングトーン」になってしまいますよ。

それらのことを気をつけながら1オクターヴを半音階でやってみてください。けっこう疲れますよお（精神的に。笑）。

（オクターヴは、何の音から始めてもいいです。毎回始める音を変えてみましょう！）

半音階で1オクターヴ、全部で13音あると思いますが、順調に進めていくと、最後の2、3音になってくると失敗するかも？というプレッシャーがかかってきて緊張もしてくると思います。その緊張感も大切なんです！！

それが、ステージの上の緊張感の中で吹くときのいい練習になります。

練習の時に、失敗は大いに重ねてください。そして、もちろん失敗し続ける状態をそのままにしないで、失敗しないようになるまで練習を重ねていってください。

その練習から手に入る自信が、本番のステージの上で物を言うと思いますよ。

こうやって工夫をしていくととても集中できるし、かつチャレンジ精神や達成感も自然と湧いてくると思います。

もちろん、音階練習でも何の練習でも、このように工夫を加えてやってみてください。

何かの練習で「どのように工夫すればいいかわからない」とか「このくらいの時間しかなくてこのような練習メニューをこなしたい」などの質問があれば、ぜひ気軽に聞いてきてくださいね。

質問などはこちらへe-mailで！

info@pepeabe.com

メルマガ上でそれらの質問に答えていきたいと思っています。

楽器演奏の練習は一人で孤独にする機会が多いですが、その中でも「楽しく」過ごせるようしましょう。

常に音楽ができる喜びと一緒に！！

編集後記

いざ書いてみるとドンドンと書きたいことが増え、逆に書くことを絞っていこうとすると、今度は書けることがなくなっていき・・・という循環に陥ってしまいましたが（笑）、なんとか第1号発行です。

思ってた以上に長くなってしまいました・・・。
届いた日にすべてを読む必要はないので、時間の取れるときに少しずつ読んでみてください！

最近、暖くなるのか寒くなるのかよくわかりませんね。
天気予報に頼りすぎず、朝起きたら外の空気を感じてから着替えをしています（笑）。
毎日の気温の変化が激しいですので、みなさん体調を崩さないように過ごしてくださいね！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com